

看護部だより ひまわり



2021年3月
発行責任者 田口 弥生

VoL.70

新人看護師基礎研修 「一年間の振り返りと今後の抱負」

昨年の4月から3東病棟に配属となり、もうすぐ一年が経とうとしています。この一年間、先輩方に、病棟の業務や看護技術はもちろんですが、患者さんを第一に考えることの大切さを学びました。まだまだ疾患への知識や看護師としての態度など、不十分なことばかりですが、エルダーナースを始め病棟の先輩を見て学んだことを忘れずに、忙しい看護業務の中でも、何より優先されるべきは患者さんであるということを常に念頭に置き、自分にできることを模索し続けたいと思います。

3階東病棟 宮内



入職して1年が経とうとしています。初めは右も左も分からない状態で、先輩方に多くの事を教えて頂きながら、業務を覚えていく事に必死でした。また、担当する患者さんの人数が増えていくにあたりタイムスケジュールの組み直し、優先順位に応じた対応が必要となり、日々考え反省する毎日でした。まだまだ知識や経験も浅く、優先順位も分からなくなり、先輩方に迷惑をかけてしまっただけですが、エルダーやプリセプターをはじめ、多くの先輩方の支えがありここまで来れました。

4月からは部署が変わり、戸惑い迷惑をかけてしまうと思いますが、分からない事は分からないままにせず、日々学ぶ姿勢を忘れずに多くのことを吸収しながらさらに成長していきたいです。また、忙しい中でも患者さんの声に耳を傾け支えていけるようになりたいです。

4階東病棟 早瀬

この一年間を振り返ってみると、最初の頃は分からないことだらけで不安な気持ちでいっぱいでした。分からない事や教えて頂いたことは、メモを取っていましたが、実際にメモをとりながら行っても、本当にこれで合っているか、不安で自信が持てず先輩方に確認しながら行っていく事で、少しずつ自信が持てるようになりました。担当する患者さんが増えると、ケアの優先順位が上手く決められず、タイムスケジュールの立て直しが出来なかったり、失敗し落ち込むことが何度もありましたが、先輩方が話を聞いて解決策を一緒に考えて下さり、看護師として成長できたと思います。これまで学んできたことを活かし、次の病棟でも日々勉強し頑張っていきたいと思います。

4階東病棟 松山



4月から1年間、3東病棟で働かせていただきました。先輩方にたくさんのことを学び、指導して頂き、たくさんの課題が見つかりました。この一年間を振り返ると、業務優先になり患者さんと向き合う時間が少なかったと感じました。しかし、患者さんと関わることでたくさんのやりがいを感じました。一人ひとりの患者さんとしっかり向き合い、少しでも患者さんの支えになる看護師になれる様頑張っていきたいです。まだまだ学習不足な面が多いので、自己学習や多くの経験を重ねていろんなことを学んでいきたいです。

3階東病棟 緒方



入職して一年が経ちました。初めは分からないことばかりで先輩方についていくのが精一杯でした。慣れない環境で覚えることも多く、優先順位を考えたタイムスケジュールをこなすことが出来ず、失敗が続き悩んだことが多くありました。

しかし、先輩方のご指導のおかげでここまで来れたと思います。これからも自分の行動に責任を持ち、患者さんの変化に気付き、良い看護を行えるように努力していきたいと思っています。

3階東病棟 福永

私は、一年間回復リハビリ病棟に配属になってから学んだことがたくさんあります。

回復リハビリ病棟は、急性期と比較して、慢性期な為、患者さんと深く関わり退院を見据えた看護をしていくことが大切です。退院をしていくにあたって、患者さんの入院前の生活から情報をとり、私達の考えを一方的に押し付けるのではなく患者さんと一緒に考え、患者さんに寄り添った看護が大切であると学びました。また、今後の抱負として、4月から急性期病棟に配属が決まっているので、回復リハビリ病棟で学んだ事を活かしていきたいと思っています。

回復リハビリ病棟 大曲

→ 急変時対応シミュレーション実施報告について

地域包括ケア病棟主任 皮籠石

今年度は救急シミュレーションを夜間想定で1回と、人工呼吸器の使用法2回、ヤンカー吸引器使用した誤嚥時の対応を実施しました。夜間想定でのメンバーは、実際、数日後に急変事例に遭遇。患者対応、医師・家族対応と実施する事ができました。人工呼吸器に関しては、包括ケア病棟では、なかなか触れる事のない機器であり、スタッフより勉強をしたいとの事で実施しました。メンバーは少ないでしたが、2回に分けてMEとスタッフの協力をもらい実施しました。誤嚥対応では、ハイムリッヒやヤンカーを使って実際、豆腐やみそ汁などを吸引しました。

包括ケア病棟は、急性期と比べ急変に遭遇する事が少ないため、シミュレーションなどを通して、いざという時の対応を学んでいける場となればと思いました。



病棟での急変時対応
シミュレーション

回復リハビリ病棟副師長 片平

急変が夜勤時に発症したことを想定し、看護師、看護補助者の具体的な動きを示したシナリオを作成後、机上シミュレーション、実施という流れで行いました。シナリオ作成では、リーダーの発言はこれでいいのか、AEDは看護補助者が持ってきてそのまま装着していいのかなど活発な意見が聞かれました。実際に行う時に注意したことは、「テストではなくシミュレーションの課題は急変対応になれること、発見者、メンバー共にいろいろな役割をやってみよう」と共通理解し、急変シナリオを読み合わせる、実施をくり返し行い「急変対応ができそうだ」と感じ

てもらえるように努めました「声に出してメンバーに指示を出すのは難しい」という意見も聞かれましたが、発見者はそばを離れてはいけないことの意味は十分理解でき、終了時の参加者の笑顔をみると苦手意識は薄らいだのではないかと感じました。





看護研究Web報告について

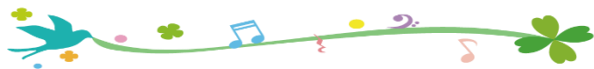
教育指導担当師長兼師長室付師長 田口

【研究テーマ】

- 外来 医療分野における被ばく実態と放射線がもたらす人体への影響について
- 手術室 当院の退院支援の意識調査 ～病棟別の認識の違い～
- 3階東病棟 援助につながる疼痛評価方法の検討
- 4階東病棟 心不全のセルフマネジメントアビリティ向上となる退院支援を目指して
- 4階西病棟 脳梗塞急性期の身体変化
～InBodyによる筋肉量測定と生活背景に着目して～
- 地域包括ケア病棟 地域包括ケア病棟における退院支援
～患者の帰りたい気持ちを実現する看護の実践～
- 回復リハビリ病棟 クッション床材の効果について検証

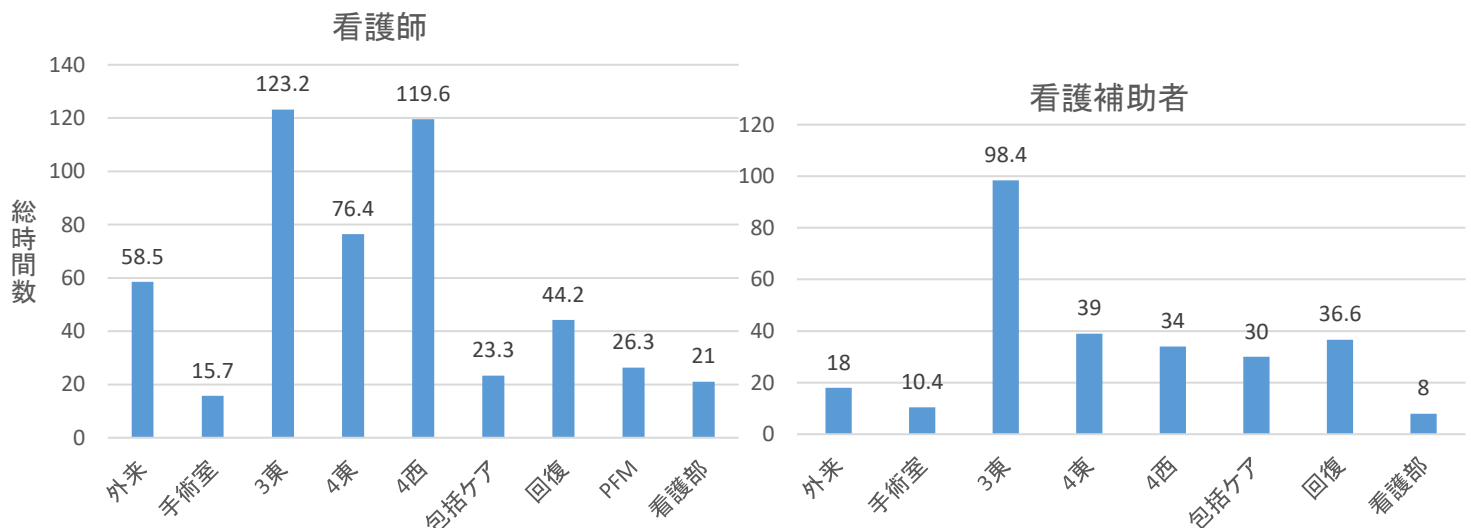


2020年度看護研究発表会は資料配布とMyWebでの掲載とさせて頂きましたが、みなさん御覧になられたでしょうか。看護研究計画書の作成から、計画実施、評価・まとめと年間を通して活動して頂いています。研究活動により得られた結果を、日々の看護活動にぜひ活かしてほしいと思います。



学研e-ラーニング視聴状況について

教育指導担当師長兼師長室付師長 田口



看護師 総時間数 518.3H/169人 1人あたり平均3.0H
看護補助者 総時間数 274.4H/42人 1人あたり平均6.5H

- 👑 第1位 43時間 3階東病棟 看護補助者) 北原さん
- 👑 第2位 37時間 3階東病棟 看護師) 八牟禮さん
- 👑 第3位 19時間 4階西病棟 看護師) 古藺さん 外来 看護師) 木村さん



★2020年4月1日～2021年1月31日まで（10か月間）のデータ集計報告になります。

ミニナラティブ

外 来 日 渡

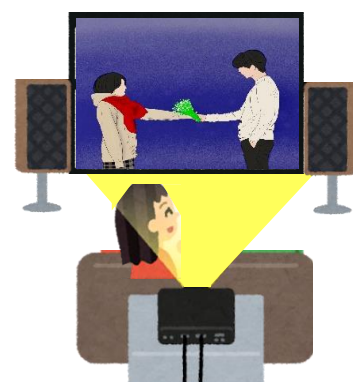
私が県外で看護師となり病院で勤務している時のことです。当時病棟に乳がん末期の女性が入院して来ました。癌が全身に転移し施す治療はありませんでした。ある日の夜勤中、その患者の病棟から緊急コールが鳴り駆け付けました。部屋は血の海で、カーテンや壁に飛び散った大量の出血、癌が頸部の大血管を突き破り気管切開孔からの出血でした。延命の確認ができておらず、末期ではありましたが「家族が来るまで、納得するまでは続ける」という医師の指示に従い、心臓マッサージを交代で続けました。手を止めると心拍は出ませんでした。続ける中、ふっと床頭台にあった筆談用の紙に残された「くるしい」という患者の言葉が目に入ってきました。私は思わず手を止め、立ちすくんでしまいました。そして、しばらくして主治医が到着、続いて家族が到着しました。血まみれの光景に何が起きたのか分からず泣き崩れる娘さんの姿がありました。患者は何を必要としているのか、患者に必要なだったのは処置でもなく、納得でもなかったのだと。ただ一人の家族との絆だったのだと痛感しました。最後の言葉に早く気付いてあげられなくてごめんなさいと思いながら、私は娘さんに「手を握ってあげてください。〇〇さんまだ温かいんです」と声を掛けました。看護に答えやゴールはないのかもしれませんが、今でも忘れられない看護体験であり、忘れられない患者さんでした。

マイフォーム

4階西病棟 大谷

この一年間、コロナ禍で遠方への外出ができなくなりました。今まで実家に2・3カ月に一度帰省していましたが、コロナ禍になってから一年以上一度も帰る事ができませんでした。

自宅で過ごすことが多くなった現在の私のブームは、韓流ドラマを見る事です。なんとなく流してみても見たのがきっかけで、そこからどんどん次が気になりだし、休日はずっと見ている事もあります。今では映画やドラマを快適に見れないかと、家庭用のプロジェクターを購入して自宅で満喫しています。元々韓流を好きだったわけではないので、特に気に入りの作品があるわけではないですが、何かおすすめの商品があれば教えてもらえると嬉しいです。



冬の寒さもあつという間に去り、暖かい季節がやってきました。日本各地で桜も咲き始め、また新しい年度に向けて、皆さん様々な準備を進めていることと幸いです。

体調管理をはじめ、気持ち良く働ける職場環境づくりにもご協力をお願いします。
(田口)

